



# 市議会だより おおまち

174号

令和元年8月1日発行

6月定例会号



特集 | 大町市議会 新体制でスタート! ..... 3ページ  
議員が質した6月定例会 ..... 12ページ  
みんなのひろば ..... 16ページ

議会だよりライブラリーで過去の議会だよりも見ることができます

八坂野平ラベンダー祭り  
撮影者：議会だより編集委員会



●表紙の写真を募集します！

●みなさんの声をお寄せください！ Mail : g-dayori@city.omachi.nagano.jp

# 特集

5月臨時会開催

# 大町市議会

# 新体制でスタート!!

5月13、14日の両日、改選後初の臨時会が開催され、正副議長が選出されました。新議長のもと、新たなメンバーで分かりやすく開かれた議会となるよう取り組んでまいります。

また各委員会の委員も新たに選任されました。委員会は本会議における審

議の予備的審査や調査機関として設けられています。議会に上程される議案は多岐にわたるため、専門化した各委員会での審査はとて重要となります。

議会運営委員会と常任委員会の任期は2年。これから2年間、このメンバーで市の課題に取り組んでまいります。

## 正副議長紹介



議長 中牧 盛登

### 議長就任あいさつ

大町市議会は、市の発展と市民福祉の向上、安心安全なまちづくりのために、行政と両輪となって取り組みます。

また、議会力の向上と議会の見える化に向けて、議員個人の活動から議会全体での活動に方向を転換し、市民に開かれた市民の役に立つ議会を目標に歩んでまいります。

目指すは「チーム大町市議会」です。



副議長 太田 昭司

### 副議長就任あいさつ

この度、副議長の大任を拝しました。

A I (エー・アイ)時代の今日、私たちの価値観も大きく変化しています。また急激な人口減少・少子高齢化が進む中、日本の行く末を予測することが困難な時代。今こそ大町市議会が一致団結し、人生経験豊かな大先輩の知恵と若い世代の柔らかな発想を結集し「市民の皆様のため」に全力で働いてまいります決意です。

## 議会運営委員会

議会の運営や議長の諮問に関する事項などを審査します



- |        |              |               |
|--------|--------------|---------------|
| 一本木 秀章 | 大厩 富義        | 大和 幸久         |
| 岡 秀子   | 委員長<br>二條 孝夫 | 副委員長<br>降旗 達也 |
|        |              | 平林 英市         |

## 常任委員会

常設の委員会で条例に定める所管事項に応じて議案を審査します

### 総務産業委員会

主に建設や観光に関わる案件について審査します



- |       |                |             |       |
|-------|----------------|-------------|-------|
| 中牧 盛登 | 一本木 秀章         | 降旗 達也       | 宮田 一男 |
| 二條 孝夫 | 副委員長<br>大竹 真千子 | 委員長<br>高橋 正 | 大和 幸久 |

### 社会文教委員会

主に子育てや福祉に関わる案件について審査します



- |       |             |              |       |
|-------|-------------|--------------|-------|
| 中村 直人 | 山本 みゆき      | 神社 正幸        | 太田 昭司 |
| 大厩 富義 | 委員長<br>岡 秀子 | 副委員長<br>傳刀 健 | 平林 英市 |

## 特別委員会

特別委員会は、特定の事件を特定の期間で審査するために設けられています

### 交通網対策特別委員会

- 中村 直人
- 山本 みゆき
- 傳刀 健
- 神社 正幸
- 一本木 秀章
- 中牧 盛登
- 宮田 一男
- 高橋 正

### 臭気対策特別委員会

- 大竹 真千子
- 降旗 達也
- 太田 昭司
- 大和 幸久
- 平林 英市
- 岡 秀子
- 二條 孝夫
- 大厩 富義

### 情報化推進特別委員会

- 中村 直人
- 大竹 真千子
- 傳刀 健
- 降旗 達也
- 太田 昭司

※委員名は議員番号順による  
特別委員会の正副委員長は、今後開催の委員会にて決定される



次ページは、一般質問

本号より各議員の一般質問欄にQRコードを掲載しました。各議員の質問の様子を大町市ホームページ内の議会中継映像で見ることができます。



創意工夫された製品や大町でしか味わえない体験を

政友クラブ 岡 秀子おか ひでこが問う

## ふるさと納税の 使途指定と活用

**問** 本年6月より、ふるさと納税制度が変わり、過度な返礼品競争を是正するため、総務省が対象自治体を指定し、返礼品は寄附額の3割以下の地場産品とする基準となった。今までのふるさと納税額の全容は。

**答** 平成20年の制度開始から昨年度までに9億1千8百万円余である。一旦、ふるさと応援基金に積み立て、寄付された方の希望に沿った事業の財源に充当させている。

**問** 使途指定の状況と活用はどうか。  
**答** 11項目のメニューがある。「自然環境を守るために」「未来を担う子どもたちのために」「協働のまちづくり推進のために」「市長におまかせ」の4事業で全体の約8割を占めている。環境保全、子育て支援、人



移転先がないのに退去を迫る実態はないか

日本共産党 平林 英市ひらばやし えいちが問う

## 市営住宅廃止で 入居者の対応は

**問** 大原2号住宅は、用途廃止に伴い入居者が退去を迫られる不安を抱えている。

**答** 入居者の状況や生活環境に見合う住宅を斡旋している。退去の強要はしない。

**問** 市営住宅の新設計画(50戸)は今年着工となっている。進捗状況はどうか。

**答** 建設用地の選択で計画が遅れている。北高跡地も候補の一つだが、県との調整がつかず、絞り込みができていない。

## 消費税増税目的の対策は疑問

**問** 2万円の商品券の発行は非課税と3歳未満児の世帯に5000円のプレミアムを付けて行われる。恒久的な消費税増税目的の施策だ。低所得の人ほど負担になり、緩和対策とならない。

**答** 消費税率引き上げによる低所得者への負担の影響に配慮した施策であり、一定の効果が見込める。

**問** 消費税10%増税は、市民の消費抑制で地方経済を冷え込ませる。

**答** 商品券発行は地域における一定の消費喚起となり、経済の下支えとなる。

## 大町総合病院職員の待遇を見直せ

**問** 収支見込みが前年度比2億7千万円の増額となるとしている。職員給与や各種手当を元に戻すべきではないか。

**答** 健全化に向けた基本的な方針に沿って収益や職員数と人件費の状況等で職員組合と毎年見直しを検討する。



用途廃止に伴い、新設となった県営上1住宅。遅れている市営住宅の建設はいつになる。



安定医業収益の為に、市民の声に耳を傾けるべきだ

創生みらい 傳刀 健でんどう たけしが問う

## 市民に信頼される 病院の実現を

**問** 大町病院の病院理念「地域に密着した温かく誠実な医療」の実現に向けた問題と課題は。

**答** 地域の医療ニーズへの確に、どのような医療支援を行うか。また、本年3月に策定した経営健全化計画を着実に実行し、地域住民皆様が安心して暮らすことのできる、持続可能な医療の提供体制を堅持することが大町病院の責務と考える。

**問** 病院理念実現に向け、市民の持つネガティブなイメージがあるとするれば、そこそが問題であり、改善すべき点に対応する事が病院の課題である。実情を知るために大町病院を利用しない市民を含めた市民アンケートするつもりはないか。

**答** 当院が担う医療の将来像を明確にすることが必要である。また「地域包括ケアシステム」を構築する上で地域住民のニーズを把握することは極めて重要であり、市民アンケートを含め、様々な手段で住民の声を直接うかがえるよう検討を進める。

## 北アルプス国際芸術祭市民参加の施策は

**問** 市民参加のための施策は何か。

**答** ワークショップや地元ガイドの養成、作家との共同制作やアートサイトの運営など多くの市民からの協力を得る仕組みを構築している。自発的イベント等に対し広報などによる周知、市の資金支援制度や創業支援協議会による補助や融資等を紹介する等、広報・資金面共に支援していく。



市民の要望を無視し続ける限り、目先の数字は改善されても、問題の根本は改善されない

が輝くまちづくり事業などへ充当し、貴重な財源として活用している。本年5月より「市立大町総合病院の支援のため」の項目を設定し、2件の寄付申請があった。

**問** 今後どのような工夫を加えて取り組むのか。

**答** 今まで、寄付額を5000円から受け付けたり、寄付者との繋がりを保つため、ふるさとに暮らす親御さんの状況を知らせる「見守り訪問サービス」等工夫している。今後、新たな特産品の商品化を図るため、幅広く検討を進める。豊富な自然を活用したアウトドアスポーツなど体験型サービスを検討する。ふるさと納税ポータルサイトを増設し、問口の拡大を図っていく。



信濃大町逸品・信濃大町ふるさと便・大町の大地からの贈り物・バラエティ商品等

一般質問は市の行政全般に関して議員がその考えや意見を聞くものです。ここでは議場でのやりとりを要約してお伝えします。



人口減少の実体を市民と共有することからスタートを

無所属クラブ 大和 幸久が問う

### 人口減少下のまちづくりは

**問** 6月8日厚生労働省は①合計特殊出生率を公表した。全国平均1・42人、長野県平均1・57人、大町市は1・50人であり、大町市の減少に改善の兆しが見えないが、どのような評価をしているか。

**答** 昨年10月の人口調査では、②社人研推計を173人上回る結果となった。

**問** 昨年3月社人研が公表した2015年を起点に30年後の2045年の将来人口推計で、大町市は41・3%減少する見込みで、これは、長野県内19市のなかで50・5%減少する飯山市に次いで2番目に大きい減少率となっている。ちなみに他の17市は、いずれも減少率30%以内だ。人口減少を30%以内なら、地方のコンパクト化は必要

**答** 一挙に解決することは困難だが、地道に努力を続ける中で改善したい。

**問** 安倍政権の地方創生・ビジョンは地場産業の育成ではなく、生産性の向上、国際化などを強調した結果、少子化対策が影を潜めて失敗し、「東京一極集中」が地方の衰退を加速させている。子育て支援を優先した結果、6年連続で人口が増加し、地域経済が好転する結果を出している兵庫県明石市の事例もある。市長の見解は。

**答** 環境の違いもあるが、良い事例はお手本とし、中間年の見直しに生かしたい。



他の市町村をはるかに超える、特別な対策が求められている大町市の少子化対策



サル対策は庁舎あげての取組とすべきではないか

日本共産党 宮田 一男が問う

### サルによる被害防止対策は

**問** サルによる被害が全市的に広がっている。従来までの対策と併せて、「地域住民に対する研修会などの啓もう活動」と「森林経営管理法の活用による里山整備」を進めて対策をすべきではないか。

**答** 「サル対策講座開催などの啓発活動や集落周辺の森林整備を検討し、被害減少対策を推進する。

**問** 一部署一担当に任せるのではなく全市的に取組む事と担当職員が臨時職員では市長の取組む姿勢が問われていると思う。職員の待遇を改善して、市民に行政の真剣さを示すことが、市民の協力を得る道だと思う。いかがか。

**答** 関係部署が密接に連携して政策調整

会議が設けられている。このような場を活用しながら現状把握とともに横断的な対策を検討していく。

### 子育て支援について

**問** 市長は、後援会会報で「子供の医療費無料化高校3年生まで拡大します」と公約しているがいつ公約を果たされる覚悟か。

**答** 全国一律の制度を全国市長会で要望している。任期中に実現する。

### 充電インフラ整備について

**問** 市役所等に電気自動車の充電スポットを設置できないか。

**答** 県内の状況を調査し、研究する。



根こそぎかじられたズッキーニ。サルに入られると徹底的に荒らされてしまう。



ネット等に対する学びの場をもっと増やすべき！

創生みらい 降旗 達也が問う

### 子どもの安心安全に必要なもの

**問** スマートフォン等の持ち込み解禁について、大阪府教育庁の公表した「小中学校における携帯電話の取扱いに関するガイドライン」、それを受け文部科学大臣が発言した文科省通知の見直し検討について、市教育委員会はどうか考えるか。

**答** 当市では、やむを得ない事情がある場合を除き原則禁止としている。情報機器を適正活用できる能力育成等の必要性、緊急時や災害時の役割は大きい、いじめや誹謗中傷の媒体となっているケースもある。持ち込み禁止の方針を堅持しつつ、今後の文科省等の方針を注視していく。

**問** 国から「持ち込み禁止の解除」の通知が出た場合、当市も同じ方針でいくのか。

**答** 使用方法やマナーに課題がある。現行の方針を幾分緩和するに留め、病気等の際や登下校時などの限られた範囲となる。

### 授業等でインターネット等の学びの時間をもっと増やすべきと考えるか。

**答** 全学校でICTを活用した授業を実践。児童・生徒は情報機器の操作には習熟してきているが、危険性や使用モラルの確立には一層の充実を図る必要がある。

### 国の通知の前から、スマートフォン等の活用について検討を行っていくべきと考えるか、そういった場を設ける考えは。

**答** 今後、情報教育に関する懇談の機会について検討していく。

**その他** 登下校時における交通安全対策について質問した。



スマホ持込の可否を含め、子どもたちの安心・安全に必要なものの検討を始めるべき

#### 用語解説

- ①合計特殊出生率 一人の女性が生涯に産む子供の推計人数
- ②社人研 「国立社会保障・人口問題研究所」のこと。厚労省内に設置された国立の研究機関で、人口・経済・社会保障に関する調査研究を行っている。



今後の病院のあり様を考えるのは市長では

政友クラブ 二條 孝夫が問う

## 経営健全化計画の進捗は如何に

**問** 市立大町総合病院経営健全化計画は一年が経過、予定通り進んでいるのか。

**答** 許可病床数199床とし病院規模の適正化を図り、新たな施設基準の取得や診療報酬における機能評価係数を向上させる取り組みなどで、入院・外来収益ともに増収となった。また職員給与や時間外手当の削減など、あらゆる経費の削減に取り組み、昨年度の決算見込みは大幅な改善が図られ、経常損益も利益が見込める。一時借入金については前年度より1億円削減、資金不足比率も経営健全化基準の20%を下回る見込み。経営健全化計画の一年目については計画通り進んでいる。

**問** 市繰入金を増減や資本的収支から収益的収支に組み替えることにより、真の収支がわかりにくくなると思うが。

**答** 市費繰入金については、国の拠出基準に沿い一定のルールに基づき算出している。繰入金の取り扱い等、収支実態が判断しにくくなるなどの懸念は制度上の課題と認識している。年度変動の要因を排除した損益計算書を作成することにより、30年度の決算見込みと29年度とを比較すると、約3億3千万円の改善が見られた。

**問** 市長に聞く。病院経営を管理運営するのは病院事業管理者と思うが、将来の病院の有り様を考えるのは市長と考えるが。

**答** 将来の病院形態をどのようにしていくか、事業管理者とともに計画の進捗状況を見極め間違えない選択をしていく。



盛況の第9回病院祭開会式、病院は市民のかけがいのない宝、皆で守ろう大町病院



全国的にも先進的な取り組みを特色とすべき

政友クラブ 中村 直人が問う

## 地域と学校で育てる子ども達

**問** 八坂・美麻小中は、全国でも先進的な地域参画型の学校だ。特に美麻小中学校は昨今、出版などを通じ注目が集まっている。大町市の全学校がこの2校と同じく、より地域住民の参画の度合いの高い、「文科省型」の③コミュニティスクールに移行する

と聞いた。行政はどのような見直しをしているか。

**答** 学校と保護者が「育てたい子ども像」を共有しながら、市内全学校に住民組織である学校運営協議会を設け、「文科省型」への移行を進めていく。各コーディネーターとの意見交換を行いながら、保護者への周知も続けていく。

**問** 美麻小中学校では、子ども達自身が授業の内容を提案し、協議会が補助金を取得し必要な講師を呼ぶなど、独自の活動がある。他の学校へもこういった授業に使える補助金の案内などはあるか。

**答** 市からも特色ある教育のための補助金として、年間200万円の予算を用意している。また、教育委員会としても、様々な補助金の案内を各校に周知している。

**問** このような魅力ある教育は、例えば大町病院の医師不足に対しても有効で、家族をもった先生の移住判断の要因になると医療関係者から聞いた。定住への取り組みに活かされているか。

**答** 移住後の生活をイメージして頂くツアーで、中学校へのツアーも行っている。



子ども達の要望をもとに大学から特別講師を招いての授業風景



戦略的な視点で差別化を図っていく必要があるのでは

政友クラブ 大竹真千子が問う

## 移住・定住に特色ある施策を

**問** 第2期定住促進ビジョンの中間年だが成果と課題は。

**答** 平成29年、30年の2年間で59世帯18人となり、第1期の5年間103世帯205人を上回るペースとなつて一定の成果があがっている。課題としては資金面の支援制度は他地域でも取り組みがされてきているため、移住者のニーズに沿った支援体制が必要である。

**問** 各地で移住者の取り合いになっているが、他地域との差別化を図った市独自の取り組みは。

**答** 移住者に決め手を聞くと財政面的支援のみで決めているわけではないことが分かる。移住相談の際の応対者との信頼関係

づくりや移住後のフォロー、事前のモニターツアーや既に移住している定住アドバイザーによる支援体制、定住後の交流イベントなど、人と人の繋がりを意識したきめ細かな取り組みが好評を得ており、他地域と差別化を図った取り組みとなっている。

**問** 今後の施策として、地域で不足する職種等に焦点を絞って移住・定住施策を進める必要もあると思うが市としてどうか。

**答** 起業・新規就農者に働く場の確保を目的とした支援策はあるが、不足している職種を絞ってターゲットとして考えることはなかった。第2期定住促進ビジョンの見直しを図る中で、各分野における人材不足の現状などを考慮したターゲットの設定を検討していきたい。



移住者が相談に訪れる、ふるさと回帰支援センター(有楽町)では多くの地域のブースが並ぶ

### ? 用語解説

③コミュニティスクール 学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる制度。現在当市には県の認定を受けた「信州型」、文科省の認定を受けた「文科省型」の2つのタイプの学校がある。



農業振興と農作物のブランド化で知名度を上げる

政友クラブ 一本木秀章が問う

### 大町市の農業の活性化を

問 大町市の農業振興計画の現状は。

答 担い手農家が中核的経営体となり、農地の集積・集約化を効率的に進め、コストの削減や品質の安定化、収量の確保に努めるとともに、兼業農家や小規模農家に対しては、高付加価値のついた少量多品種の生産や直売所等での販売を通じた農業経営の維持等に取り組んでいる。

問 農業分野だけでなく他分野と連携しながら農産物の販路拡大をしているのか。

答 教育委員会や観光課、商工労政課などと連携を深めると共に市内企業とも連携を深め、大町産の農産物の販路拡大に努める。

問 大町産の農産物のブランド化や知名度の向上は進んでいるのか。

答 信濃大町ブランド戦略を策定し、現在取り組みを進めている。また立川市のアンテナショップを通じて消費者にPRしている。これからも海外への輸出も視野に入れたブランド力と知名度の向上、生産者の所得向上を図っていく。

問 認定農業者に対する助成制度について問う。

答 園芸振興事業、環境保全型農業推進事業、農作業維持体制構築事業、地域特産物加工事業、農産物被害防止事業、農産物等災害緊急対策事業などの市単事業や農省の交付金事業があるが、農家への周知があまり成されていない。農家の皆様への周知広報に努めていく。



美しい景色、きれいな空気、美味しい水だけでは農産物は売れない



病児保育の検討状況をお尋ねします

政友クラブ 山本みゆきが問う

### 病児保育の事業化を求めて

問 共働き世帯が増加しており、病児保育の必要性が高まっている。市ではどのように検討しているのか。

答 必要な設備や機能を備え、医師や看護師の確保、連携が可能な医療機関である大町病院が役割を担うことが適当と考える。現在、病児保育実施の基本的な方向性につき院内の幹部会で了承し、併せて小児科医師との調整が整ってきたので、実施場所の選定や保育士の確保、感染防止策、さらには運営経費などについて、市との具体的な調整を行うこととしてできるだけ早期に実現できるように取り組んでいく。

問 これに関連して保育士の人手不足も問題となっている。近隣の市町村では実施している臨時保育士への一時金支給が大町市では行われていないが、さらなる子育ての支援充実が求められる中、病児保育の早期実現をはじめ、保育園の安定した運営・保育の充実のためには、こうした賃金格差を早期に是正する必要があると思う。市での検討状況と実施時期についてうかがう。

答 臨時保育士等への一時金の支給については新たに来年4月に施行される「会計年度任用職員制度」の導入に向け、県や県内19市、近隣の町村の動向を参考としたうえで、他の職種の臨時職員の取り扱いとともに制度全般について検討をはじめている。



働く親御さんにとって病児保育は必要なもの早期実現を

## メンドシーノ訪問団と交流

歓迎会と表敬訪問

### 6月27日 メンドシーノ訪問団歓迎会が開かれ、議長以下有志議員が参加しました

メンドシーノと大町市美麻の交流も今年で40年を迎え、今年はメンドシーノから32人の訪問団が美麻地区を訪れました。市長、教育長、議長出席のもと地元ボランティアの方々が朝から準備した地元料理を堪能しながら、和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。

訪問団長のグレッグさんは「素晴らしい歓迎会ありがとう。一緒に過ごせる時間は少ないが、皆さんの生活や文化にとっても興味があり、ここでしか学べないことは多いと思う。メンドシーノのこともたくさんお伝えしたい」とさらなる友好を誓いました。



美麻公民館で開かれた歓迎会 手作りの地元料理が並ぶ

### 7月1日 訪問団の皆さんが議会を訪問し、中牧議長と懇談しました

「日本に来て驚いたことは？」との議長の質問に、「神社やお寺の境内がきれい」「家に便利な家電がたくさんあった」「スーパーのドライアイスが出てくる機械に驚いた」など、子供らしい発見を次々に発表してくれました。特にみんなで食べた「花豆アイス」がおいしかったという言葉には、そろって頷いていました。

議長の「皆さんの観察力に感心した」との感想に、嬉しそうな笑顔をみせてくれました。



大町市議会を表敬訪問したメンドシーノ訪問団の皆さん 議場にて

# 議員が 質した 6月定例会

6月定例会常任委員会における議案審査の主なものを報告します。



## 総務産業委員会

### 議案第11号 除雪車の購入について

**問** ローターリ除雪車の購入費約4千5百万円の内、国の交付金の補助率はどの位か。

**答** 事業費の3分の2としていますが、この場合内示率が低く約3割程度である。

**問** 落札率が99・4%と高い。公正な競争原理が働いているか。

**答** 公正な競争原理を担保できるように細心の注意を払う。

### 議案第13号 ケーブルテレビ自主放送番組自動送出設備更新約3千2百万円について

**問** 今回は老朽化による更新とのことだが更新時期は。

**答** 概ね8年から9年である。

### 議案第5号 大町市基金条例の一部改正について

**問** この基金は森林整備等に活用することだが、今後の見通しと推進体制はどうか。

**答** 総務省の指針では、まず約1千万円。その後段階的に増加し、22年後には4千万円を見込んでいます。事業内容は、所有者の特定、意向調査など、森林整備に活用する。現段階では、業務内容や業務量が不明確であり、人員不足が懸念される。

### 議案第7号 大町市水道事業に係る条例改正について

**問** 改正後給水人口を2万4千百人としているが、今後人口

減少が予想され、施設の維持管理など負担増が懸念される。施設規模が過大にならないようにすべきと思うがどうか。

**答** 今後状況の変化により認可が必要となれば見直す。

### 議案第9号 令和元年度一般会計補正予算

#### 企画財政課

**問** プレミアム付商品券事業の経済効果はどの程度か。

**答** 約1億5千万円である。

#### 商工労政課

**問** 今回のプレミアム付商品券対象者は、住民税非課税者と子育て世代だが、個人情報観点で問題はないか。

**答** 商品券の種別は分けない。また換金に際し、守秘義務を課す。制度自体は、市ではなく国からの指示による。市は適正に処理していく立場である。

#### 情報交通課

### 「林地台帳システム」について

**問** 体制的にもかなり困難な事業と思うがどうか。

**答** この制度の背景は、所有

者不明・境界が不明確であることから整備を行うものである。県からの資料を基に、市の単独事業として実施する。かなり労力を要すると懸念している。

#### まちづくり交流課

**問** 就業者等移住支援金3世帯3百万円についてはどうか。

**答** 今年度新規に取り組む。実際には11月ごろからの申請である。年度途中であることから3世帯を想定した。

#### 意見

定住促進について、「首都圏を対象」とあるが、東京都内よりはるその近郊や関西圏の需要が多い。範囲を広げて周知すべきである。

### 議案第12号 令和元年度一般会計補正予算

#### 企画財政課

**問** 県の100%補助事業である農業施設整備事業について、目的・予算規模や、今回の対象事業はどうなっているか。

**答** 米作主体から新たな作物の生産や収益向上が目的。市内でワイン醸造に関わる事業が採

## 社会文教委員会

### 議案第2号 損害賠償の額を定めることについて



ワインぶどうを栽培する農園

択された。金額は300万円である。

**意見** いろいろと補助事業があることを、あらかじめ農業者に周知・徹底すべきである。

**問** 再発防止に向けての対策

は。

**答** これまでも落雪により車両を破損させる事案があり、冬期は体育館横の駐車場の区画は利用禁止などの対策を講じてきた。今まで安全と考えられていた場所よりも、遠い位置にまだ落雪範囲が拡大したと考えられる。今後はさらに駐車位置を遠ざけるなどの対策を講じたい。

#### 意見

今回は車両の損害だけでなく、児童や職員などの人的被害が発生しない対策を講じてほしいとの意見があった。

### 議案第9号 令和元年度大町市一般会計補正予算

#### プレミアム付商品券事業について

##### 福祉課

**意見** わずか5千円のプレミアムを与えても、消費税増税となれば、2%は上がったままとなり、将来にわたる影響額は非常に大きな金額となる。この点において事業による効果は少ないと考えており、賛成できないとの意見があった。

## 社会文教委員会 視察報告

### b & g 大町を視察

6月19日、地域の子どものための“もうひとつの家”b & g大町の現地視察を実施しました。

同施設は、市内の小学生が放課後や長期休みに、安全・安心に過ごすことができる“家でも学校でもない第三の居場所”として6月3日からスタートしています。

公益財団法人B & G財団が、開設費・運営費の助成及びプログラムについて支援し、市の子育て支援課、教育委員会、福祉課等の運営支援や、その他の関係各所との連携が進められています。

視察時点での登録者は10名。あたたかい食事の提供や、学習サポート、生活リズムづくり、読書活動等が始まり、学ぶ意欲を育み将来の自立に向けた力を身につける居場所になるよう取り組んでいます。



施設の概要について説明を受ける

運営はNPO法人キッズウィル  
開所時間は  
月曜日～金曜日の放課後から21時、  
日曜・祝日は9時から21時。  
送迎あり。

相談・申込みは  
b & g 大町(電話85-4370)まで。

# 令和元年6月定例会 提出案件の審議結果

## ◇賛否が分かれた案件

議案・陳情の原案に対して「賛成は○」「反対は●」で表示

議案番号等	案件	日本共産党	無所属クラブ	市民クラブ	創生みらい	政友クラブ					公明	無所属	結果					
		宮田一男	平林英市	大和幸久	高橋正	中牧盛登	大塚富義	降旗達也	傳刀健	中村直人	山本みゆき	大竹真千子		一本木秀章	岡秀子	二條孝夫	太田昭司	神社正幸
議案第9号	令和元年度大町市一般会計補正予算(第2号)	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決

議長は議事進行のため「賛成」「反対」の意思表示はしない。賛否同数の場合のみ「議長採決」として賛否を表明する。

## ◇全会一致で可決・承認・同意・採択された案件

議案番号等	議案名等	結果
報告第1号	専決処分の報告について専第4号 大町市税条例等の一部を改正する条例	承認
報告第2号	専決処分の報告について専第5号 大町市都市計画税条例の一部を改正する条例	承認
報告第3号	専決処分の報告について専第6号 大町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	承認
報告第4号	専決処分の報告について専第7号 平成30年度大町市一般会計補正予算(第11号)	承認
報告第5号	専決処分の報告について専第8号 平成30年度大町市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	承認
報告第6号	専決処分の報告について専第9号 平成30年度大町市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	承認
報告第7号	専決処分の報告について専第10号 平成30年度大町市公営簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)	承認
報告第8号	専決処分の報告について専第16号 平成30年度大町市病院事業会計補正予算(第4号)	承認
報告第9号	専決処分の報告について専第17号 平成31年度(令和元年度)大町市一般会計補正予算(第1号)	承認
議案第1号	監査委員の選任について	同意
議案第2号	損害賠償の額を定めることについて	原案可決
議案第3号	大町市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第4号	大町市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第5号	大町市基金条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第6号	大町市附属機関に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第7号	大町市水道事業等の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第8号	大町市公営簡易水道条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第10号	令和元年度大町市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第11号	市有財産の取得について	原案可決
議案第12号	令和元年度大町市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第13号	市有財産の取得について	原案可決
陳情第1号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書等の提出を求める陳情	採択
議事第1号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	原案可決

## 議案第9号

### 令和元年度大町市一般会計補正予算(第2号)

消費税増税の影響緩和と地域での消費下支えを目的とするプレミアム付商品券事業の実施について争点となりました。

#### 反対

プレミアム商品券発行は、消費税10%増税に対応した低所得者への緩和策としているが、負担軽減というならば、景気悪化を招き、市民生活破壊の増税中止を国に求めるべきだ。(平林)

本予算のプレミアム付き商品券事業に反対する。消費税10%への引き上げは低所得者等への影響緩和にならず、国民生活の疲弊や、地方経済の衰退に拍車をかけることになる。(大和)

#### 賛成

プレミアム付商品券については市の財政を持ち出すことなく地域の消費に繋がる事業である。全国一律にて実施される事業を大町だけが実施しないのは市政に対する不信感を招きかねない。(山本)

利用可能な店舗は大町市全域を対象としており、使用された場合の最大額は1億5000万円が見込まれ、国が全額補助する事業であり、消費喚起、消費の下支えという意味では必要であると考える。(大竹)



討論は議案等の採決の前に、なぜ反対なのかなぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。採決の結果は、次ページの審議結果をご覧ください。

6月定例会最終日の討論の内容を要約してお伝えします。

次ページは、みんなのひろば



インターネットと市ケーブルテレビで放送しています。録画・再放送もご覧いただけます。

🔍 大町市議会 議会中継

あしがき、大町市議会は4月の選挙の結果、新人議員6名が入り16名の議員でスタートしました。平均年齢も下がり、女性議員も増えるなど、新しい議会体制となりました。大町病院の再生をはじめ、課題は山積していますが、市民の代表として役割を果たしていきます。(大塚)

## ■傍聴しませんか■

次回  
9月定例会は  
8月27日  
開会予定です

日	月	火	水	木	金	土
8/25	26	27 9月定例会 開会	28 本会議	29	30	31
9/1	2	3 本会議 (一般質問)	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6 委員会	7
8	9 委員会	10 委員会	11	12	13 委員会	14
15	16	17	18	19 本会議 (閉会)	20	21

傍聴をご希望の方は、議会棟2階の議会事務局までお越しください

# みんなのひろば

議員が市民のみなさまの声を取材してつくるみんなのひろばです。今回は、今年度新社会人になったフレッシュな皆さんにインタビューしました。

## 市内企業に就職した新社会人に聞く



- ① 将来の夢はなんですか？
- ② 初任給の使い道は？
- ③ 大町のどんなところが好きですか？

### 有限会社林薬局

うえはら まい か  
上原 舞香さん

安曇野市出身



- ① 今は早く仕事を覚えて、慣れることです。
- ② 初任給は、家族で食事に行き、祖父母にプレゼントを渡しました。残りは貯金しました。
- ③ 自然豊かで働きやすいところが好きです。

### 株式会社相模組 営業部

まつざき れん  
松崎 蓮さん

安曇野市出身



- ① 人と人のつながりを大切にし、地域を盛り上げられるような仕事をしたい。
- ② 初めての給料は、親と食事に行きました。
- ③ 親切な人や良い人が多いところが好きです。

### 大町ホンダ販売 株式会社

むらせ たくみ  
村瀬 卓美さん

大町市出身



- ① 主に自動車の修理や整備の仕事をしていません。早く職場に慣れ、エンジニアで一人前になりたいです。
- ② 家族とラーメンを食べて、残りはパソコンの部品を買いました。
- ③ オフロードバイクが趣味なので自然がいっぱいの大町が大好きです。

### 大町市役所 観光課

せんすい ひさの  
泉水 久乃さん

さいたま市出身



- ① 対外的な部分に視野を向けつつ、市内でのやりたい事、いい事を大事にして、大町を盛り上げていきたい。
- ② ゴールデンウィーク中、友人に大町のすばらしいところを市内観光で案内した。
- ③ 空気・水がおいしい。雨の時、外の匂いもいい。暮らしの中の自然がとても豊かなところが好きです。

### 社会福祉法人 れんげ福祉会

いちやなぎ あおい  
一柳 翠斐さん

松川村出身



- ① 現場で経験を積み、将来は社会福祉士や介護福祉士などの国家資格を取得して、介護だけではなく地域と施設をつなぐ相談相手になりたい。
- ② 親を食事に誘い、残りは貯金しました。
- ③ 自然が多く過ごしやすいところが好きです。

### 北アルプスの風 リーベおおまち

みねむら すずか  
峯村 涼香さん

信州新町出身



- ① 先輩達が利用者さんへ優しく寄り添う姿を見て、私もそうなりたと思っています。
- ② 貯金と、両親にケーキを買いました。喜んで貰えて嬉しかったです。
- ③ 大町には色々なお店があって嬉しいです。休日を利用してカフェなどを巡りたいです。